

今日のトピック 自動車業界の2018年度上期決算 4-9月期の連結営業利益は、トヨタとホンダは増益、日産は減益

自動運転、電動化など次世代技術への投資を積極化

- 自動車大手3社の2018年度4-9月期の連結決算は、トヨタとホンダは増収増益、日産は減収減益となりました。トヨタは、アジアや欧州で販売好調であったほか、コスト低減などから増収増益となりました。ホンダは、アジアでの二輪車の販売好調などが牽引して増収増益となりました。
- トヨタグループの主要8社の4-9月期の連結決算は、アジア市場の好調や自動車の電動化などを背景に8社が増収となった一方、原材料高などから営業増益は2社にとどまりました。
- 通期見通しについては、米中貿易摩擦の激化への懸念などから総じて慎重な見通しとなっています。完成車、自動車部品各社ともにCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）と呼ばれる次世代技術向けの研究開発投資を増やしています。

【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		18年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	18年4-9月期	19年3月期見通し	18年4-9月期	19年3月期見通し	
トヨタ自動車	146,740 (+3)	295,000 (+0)	12,618 (+15)	24,000 (+0)	110
ホンダ	78,658 (+5)	158,000 (+3)	5,139 (+22)	7,900 (▲5)	110
日産自動車	55,327 (▲2)	120,000 (+0)	2,103 (▲25)	5,400 (▲6)	105

【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		18年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	18年4-9月期	19年3月期見通し	18年4-9月期	19年3月期見通し	
デンソー	26,250 (+11)	54,000 (+6)	1,524 (▲25)	3,930 (▲5)	110
アイシン精機	19,945 (+8)	40,000 (+2)	1,233 (+14)	2,340 (▲8)	110
豊田自動織機	10,570 (+13)	22,000 (+10)	614 (▲20)	1,350 (▲8)	110
豊田通商	33,615 (+7)	—	1,074 (+13)	2,130 (+17)	110
ジェイテクト	7,429 (+9)	15,000 (+4)	326 (▲8)	870 (+7)	107.6
トヨタ紡織	6,863 (+2)	14,000 (+0)	278 (▲13)	620 (▲13)	110
豊田合成	4,049 (+4)	8,250 (+2)	108 (▲45)	380 (+8)	110
愛知製鋼	1,237 (+9)	2,551 (+8)	56 (▲21)	100 (▲15)	111

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。トヨタ自動車は米国会計基準、ホンダ、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、豊田通商、豊田合成は国際会計基準。

(注2) (*) 豊田通商は売上高見通しは未公表。

(注3) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。為替想定は18年度の円/米ドル想定レート。

(出所) 各社決算資料やQUICKなどのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも
チェック!

2018年11月5日 新たな『モビリティサービス』への戦略的提携
2018年10月2日 『日銀短観』、大企業製造業が3期連続悪化

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。